

【障がい児サーフィン体験教室～海と日本プロジェクト2022～実施報告書】

2022年7月10日（日）

実施：たはらサンドアート実行委員会

―― イベント概要 ――

- ・ 名称 障がい児サーフィン体験教室～海と日本プロジェクト2022～
- ・ 日時 2022年7月10日（日） 10時00分～12時00分
- ・ 会場 田原市若見海岸（新日本ポイント）
- ・ 概要 知的発達障がい児とボランティアによるサーフィン体験教室
- ・ 目的 サーフィン体験教室【海を体験しよう！】
- ・ 対象 知的発達障がい児
- ・ 主催 たはらサンドアート実行委員会
- ・ 協力 認定特定非営利活動法人 Ocean's Love

―― イベント結果 ――

参加者数：知的発達障がい児とその家族31名11家族、ボランティア28名、スタッフ7名
合計66名

―― イベントの様子 ――



【カルテ共有・目標設定シート】



【事前説明】



【準備体操】



【子どもの自己紹介】



【陸での練習】



【サーフィン体験時】



【サーフィン体験時】



【エンディング】

【ボランティアからメダルのプレゼント】



【至学館大学の学生とサーファーのボランティア】



【受付】



【ヘルプマーク普及啓発】

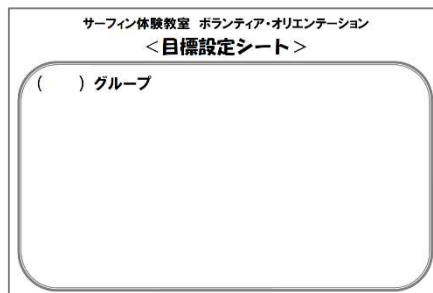
——障がい児サーフィン体験教室 実施レポート——

当日はあいにくの曇りではありましたが、暑すぎず活動しやすい気温でした。水分補給を随時促すなど十分に熱中症対策しながら、トラブルなどもなく無事に一日を過ごすことが出来ました。参加された方やボランティアの方から「楽しく乗れたよ」「次はもっと乗れるよ」などの感想や、保護者からもお礼の言葉をいただきました。実行委員会としても、参加者の皆様の笑顔を見ることができ、達成感を得ることが出来ました。

【ボランティア事前説明】9：30～10：00

ボランティアの方々には参加者が来る前に集まってもらい、障がい児1名に対して、ボランティア3名のグループで対応するため、グループに分かれて自己紹介を実施し、受け入れる子どもの特性を記載したカルテを使って、配慮することなど情報共有をしました。今回はカルテに顔写真を追加することで、初対面でもコミュニケーションが取れやすくなるようになりました。

その後、グループ毎に、本日の目標を目標設定シートに記入してもらいました。ボランティア同士がスムーズにコミュニケーションを取り、一つの目標をグループで意識することで、子どもが安心してサーフィンを体験できる体制づくりにつなげました。



Bグループ

参加者		参加者写真	
名前	鈴木	写真	NO. [写真]
保護者名	鈴木	性別	母
参加人数	1人	備考	
参加者情報			
参加者名	鈴木	年齢	性別
学年	なし	所属	男性
住所	白旗坂スベクラン公園 学習障害		
備考			
備考2			

※事前に周知することで、理解が深まり、円滑に交流することができる

【受付・出迎え・自己紹介】10：00～10：30

ボランティアの方と一緒に、参加者家族を出迎えました。サーフィン体験を始める前に自己紹介をするなど各グループで参加の子どもたちとコミュニケーションを図る時間を設けました。ボランティアさん全員の前で、自己紹介をしました。たくさんの人に見られている中、緊張しつつも自分のことを目の前にいる人に伝える経験となりました。

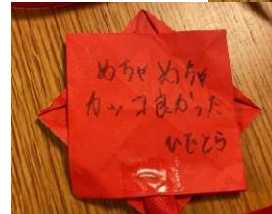


【サーフィン体験教室】10：30～11：30

準備体操を全員で行った後、プロサーファー講師の杉原康幸の指導のもと、プロサーファー講師である杉原康幸の指導のもと、ボランティアリーダーのサポートを受けながら、陸でパドリングや立つ練習をしました。その間に、リーダー以外のボランティアは、サーフィン体験時のそれぞれの位置や役割を確認するデモンストレーションを行いました。実際に海に入ってサーフィン体験する際は、子どもの障がいの度合いや年齢に応じた楽しみ方をしました。はじめは海に入る勇気がなかったり、ボードの上につく伏せになることが怖かったりする子どももいましたが、講師やボランティアスタッフのサポートによって徐々に慣れていき、ボードの上に座った状態で波に乗ったり、沖に出てすぐに立つことが出来るようになったりと、困難を乗り越える場面がありました。また、波乗りができると、家族やボランティアから大きな歓声があり、子どもたちの達成感に満ちた笑顔が見られました。

【エンディング】 11：30～12：00

最後に、今回のイベントについての想いを改めて代表から伝えるとともに、サーフィン体験終了後、参加した子どもたちから講師やボランティアのみなさんへお礼を伝えました。ボランティアスタッフからは手書きのメッセージ入りの折り紙のメダルを子どもたちにプレゼントしました。拍手とともに、あたたかい雰囲気に包まれる時間となりました。



【サーフィン後の集合写真】

